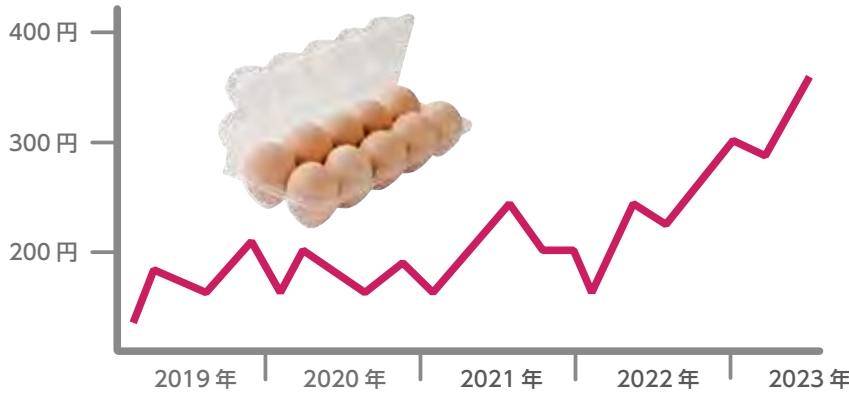


食料品の値上げなど、連日物価高騰について報道がありますが、断片的でじっくりこない毎日…。思い切って専門家を直撃しました。

たまご相場 (M サイズ) の推移

資料出所: JA 全農たまご株式会社「相場情報 (福岡)」



「物価の優等生」たまごに大異変。原因は？

— 前号のお話は、物価高には複合的な要因が重なり合っていて、それが広範に波及しているとのことでした。その中で電気代の話がありました。他に日常生活レベルでの異常事態はありますか？

はい。前回「エネルギーと食料でインフレが顕著」と紹介しました。その食料の中でも特に高騰が著しいのはたまごです。

— 確かに高いです！今までこんな値段は見ただことがありません。

同感です。たまごは数十年にわたり大幅な価格変化がなく、安定した価格推移を示すことから「物価の優等生」と呼ばれています。「こんな値段は見たことがない」のは歴史的な価格高騰に見舞われているためです。詳しく見ていきましょう。

実はたまごの相場が決まる仕組みは他の食品とはやや異なります。魚や野菜などは、季節や天候による生産量や品質の変化が大きい。卸売市場で現物を見ながらの競りや相対取引によって相場が決まります。このような相場の決め方を卸売相場といいます。

— 野菜や果物であれば青果市場、魚であれば魚市場で価格が決まっているということですか？

そのとおりです。一方で、たまごはそうした変化が少ないため、荷受会社が日々の需要と供給のバランスをみながら相場を決定しています。その地域のためごが一同に集まる市場は存在しません。このような相場の

決め方を荷受相場といいます。

— 知りませんでした。肝心の相場推移はどうでしょうか。

元々の傾向として、夏場は低く冬場は高くなる傾向が多いです。特に12月はクリスマスケーキや年末年始の前倒し需要などの影響で、需要も高まるため、相場も最高値となる傾向が多いですが、ここ最近では異常な傾向が続いています。

グラフを見ると、2020年までは標準の200円前後で推移していました。しかし、2021年から価格が上昇傾向となり、250円前後で推移しています。そして、2022年からは継続した上昇傾向で400円に迫る勢いです。

— やはり複合的な原因ですか？

はい。飼料価格とエネルギー価格の高騰です。鶏の飼料は基本的にトウモロコシを原料に作られています。ここ数年はウクライナ侵攻の影響で穀類の価格が世界的に上昇しており、それに伴って飼料価格も上がっています。

そして、寒冷地にある養鶏場の場合では、暖房を使う必要があるため、高騰している電気代や灯油代が余分にかかります。

さらに2022年以降の価格急騰は、鳥インフルエンザが原因です。国内における採卵用鶏の約9%が殺処分される事態となっており、深刻な供給不足となっています。たまごにおいては、トリプルパンチとも言える状況です。

オムライスの材料価格 2019-2023

資料出所: 都市別小売物価統計 (北九州) を参考に市が作成



	油	鶏肉	たまご	ケチャップ
単位	1,000g	100g	10個	500g
平均値上率	59%▲	4%▼	46%▲	29%▲

——外食産業ではたまごを使ったメニューが高騰したり、そもそもその提供をやめたと聞かれています。

特に今春の再値上げの影響も大きいと言えます。たまご料理の代表であるオムライス为例にすると、油やケチャップなどの食材に加え、ガスや電気などの光熱費の高騰で価格が上昇している上、メイン食材であるたまごの供給不足で、安定した提供ができないという事態です。

大手チェーン店では、オンライン販売の休止や、看板メニューの休止に追い込まれています。また、多くの外食産業が季節の変わり目に新メニューを含むメニュー改定を行います。これにも影響が出ていると聞かれます。

——とは言え、たまごを食べずに生活していくことは考えられません。

はい。余計に負担感が増すと思います。しかし、供給が少ないために需要が落ちているといった傾向はありません。

実はたまごの流通経路は、小売業者向け、外食業者向け、加工業者向けと大きく3つに分けられています。農林水産省は、消費者の不安につながらないよう、小売業者への供給を優先するようにお達しをしています。

供給が優先されているスーパーなどでは価格が高いものの、たまごが手に入る、供給が劣化する飲食店などでは価格が高い上、希望する数量が手に入らないという構図から、メニュー停止に至ったという見方ができます。

## 今後の生活への影響は？ 物価高騰の見通し

——スバリ今後の見通しは？

国内ではピークは越えたとの認識があります。政府経済見通し（内閣府2023年1月）によると、消費者物価指数（総合）の上昇率は、エネルギー・食料の項目で上昇が見込まれるものの、経済対策による効果もあって、1.7%程度と前年度より上昇幅は縮小するとしています。

——上昇幅は縮小する？ …まだ上がるといいますか？

あくまで推測であるため、歯切れが悪いのは仕方ありません。むしろ、元に戻ることはなく、今後もしわじわと上がっていくという覚悟をもった方が良く考えます。前号でお話したとおり、エネルギー・食料の高騰は影響が広範に及ぶからです。

たまごについては、殺処分した養鶏場が再開し、流通量が増えると価格も落ち着いてくるとの明るい兆しの一部見えています。ただし、雛が生まれてから安定的にたまごを産むようになるまで通常半年程度を要すること、次の鳥インフルエンザの流行時期、感染状況を注視しなければなりません。

——対策は進んでいると言えますか？

政府は子育て世帯や困窮世帯などを中心に、給付金の支給を行っています。

また、自治体も政府からの交付金を使用して独自の対策を行っていますが、あくまでも「急場しのぎ」と言えますので、根本の解決には至ってません。そもそも行政側

にそのような解決機能はないと言っても良いかもしれません。

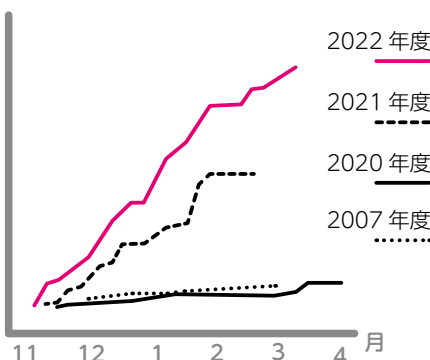
——体感が解決していかれるのでしょうか…？

餅は餅屋と言つように、経済は経済で解決するしかありません。つまり、物価の高騰が高騰と感じないようにするレベルまで賃金が上昇し、経済成長していくしかありません。

今年の春闘の結果はご存知でしょうか。労働者側の賃上げ要求に対し、経営者側が軒並み満額回答しました。近年の人手不足による優秀な人材の確保、そして従業員の生活水準の安定という観点もあるかと思いますが、経済界全体が「このままでは日本経済が危うい」との意識も働いたのではないかと思っています。

まだまだごく一部の流れですが、今後は中小企業などを含む全体に浸透し、良いサイクルになるよう願うばかりです。

家きん累計殺処分数



資料出所：岡山理科大学獣医学部

「家きん」とは、にわとり、うずら、あひるなどのことです。これらの2022年度の殺処分規模は、過去最悪だった2020年度を遥かに上回っており、未曾有の事態となっています。累計殺処分数は1,771万羽で、平時に国内で飼育されているにわたりの約1割に相当します。

## 教えてくれたのは…

テレビでもお馴染み、九州・沖縄・山口経済の「ご意見番」九州経済調査協会は、企業や自治体からの委託調査や研究も行っています。私は調査研究のほか、九州経済に関する見通しも担当しています。

九州経済調査協会 事業開発部

相川 弘樹さん

